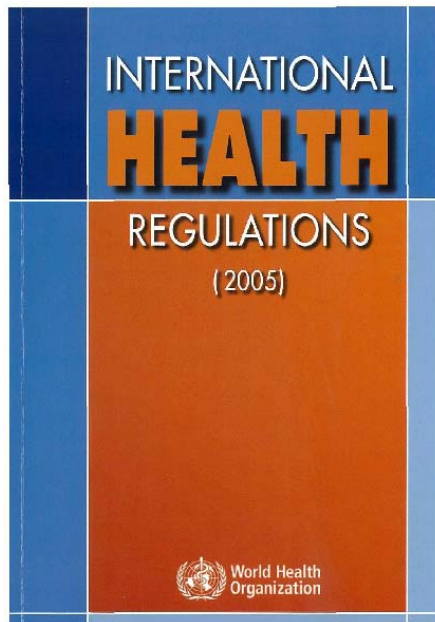


世界保健機関(WHO)による危機管理 — 国際保健規則(IHR) —

- 世界保健機関(WHO)憲章第21条に基づく国際規則。
- その目的は、**国際交通に与える影響を最小限に抑えつつ、疾病の国際的伝播を最大限防止すること。**
- 今回の改正前は**黄熱、コレラ、ペスト**の3疾患を対象としていたが、
 - 昨今のSARS、鳥インフルエンザ等の**新興・再興感染症**による健康危機に対応できていないこと
 - 各国のコンプライアンスを確保する機序の欠如
 - WHOと各国との協力体制の欠如
 - 現実の脅威となった**テロリズムへの対策強化**の必要性が指摘され、大規模な改訂となった。

改正国際保健規則

revised International Health Regulations (IHR2005)



1951年 国際衛生規則 (ISR) 制定

1969年 国際保健規則と改名

2005年 国際保健規則の改正

主な改正点:

1. 幅広い対象

従来、黄熱、コレラ、ペストの3疾を対象としていたものが、**原因を問わず、国際的な公衆衛生上の脅威となりうる全ての事象 (PHEIC)**へと広げられた。

PHEIC : Public Health Emergency of International Concern

2. WHOへの**通告義務**

PHEICを検知してから24時間以内に通告を義務化。

平成15年12月15日通知
通常とは異なる重症
患者等の把握



通告に際する判断の流れ

3. 国内連絡窓口の設置

National Focal Pointは24時間いつでもアクセス可能に。

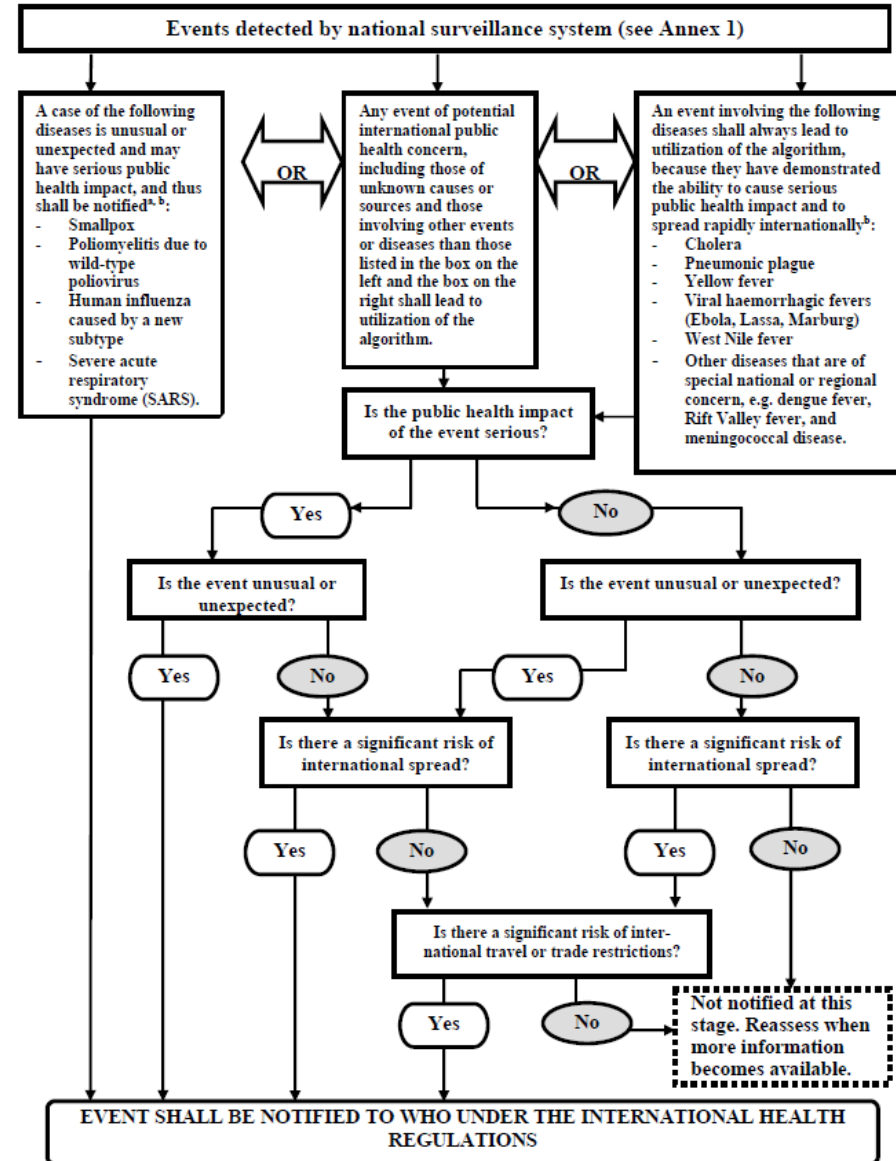
4. 加盟国の体制整備

5. WHOの勧告

6. IHR専門家名簿の作成

7. 出入り口での検疫から、地域内封じ込めへ

ANNEX 2
DECISION INSTRUMENT FOR THE ASSESSMENT AND NOTIFICATION OF EVENTS THAT MAY CONSTITUTE A PUBLIC HEALTH EMERGENCY OF INTERNATIONAL CONCERN



^a As per WHO case definitions.

^b The disease list shall be used only for the purposes of these Regulations.

改正国際保健規則(IHR2005)に基づく主な情報の流れ概要図

